

芸術体験 身近に感じて

12日から「表現のコモンズ」青森

青森公立大学国際芸術センター青森（ACAC）は、20日から来年3月6日まで、各分野のアーティストによるワークショップ（WS）や公演を通して芸術体験を身近に感じてもらうイベント「表現のコモンズ」を同館で開催する。

同イベントは、これまでの「冬の芸術講座」をリニューアルの「表現のコモンズ」プレスリリースの表紙（部分）



ンルも広げた。

プログラムは①「表層／地層としての野外彫刻 準備講座『ここにたつ』」（12月20日、2月6日、3月20日）、②地点 ワークインプログレス公演「地下室の人々」（1月23、24日）、

家・彫刻研究者の3人の講演を通じて思いを巡らせる。ACACが2021年度に予定している野外彫刻に関するプロジェクトの準備講座に位置付けられる。②は京都を拠点とする劇団「地点」の公演。ドストエフスキー「地下室の手記」のテキスト（言葉など）をコラーージュして上演する。③は2日間連続のWS。

込み締め切り日はプログラムごと異なる。問い合わせはACAC（☎0171-764-5200）へ。詳細はACACのホームページでも確認できる。

（木村歩）

③小野耕石 版画ワークショップ「自分の顔 de 雪だるまを作ろう」（2月20、21日）、④正直 ライブパフォーマンス&ワークショップ「音の慣らしかた」。

および青森市内にある数々の野外彫刻について、郷土史家やアーティスト、彫刻

いずれも参加無料（②は投げ銭制）で要予約。申し

このうち、①はACAC

ユニット「正直」が出演す